教育随想

遺言からジャンプ

社会福祉法人「米山寮」理事長
岡崎森林組合長

眞木　宏哉　氏

「遺言」とは、広辞苑によれば「人が死後のために物事を言い遺すこと。また、その言葉」とあります。遺言が特別な意味をもつのは、故人にとって、これだけは遺された者へ確実に伝えておきたいという最も切実な思いのこもったメッセージだからでしょう。

私は、このほど、その遺言を受領することになりました。もちろん私にとっては未知の経験です。その遺言の主は、先月他界したばかりの父。彼にとってもこれは初めてで最期の仕事だったに違いありません。

父の葬儀後は、七週間の中陰法要・忌明け法要を喪主として無我夢中のうちに執り行い、やれやれと思う間もなく、故人の九十五年の人生の足跡を一つ一つほぐしながら、諸名義変更申請・相続手続き・山林管理の継続・旦那寺との関係・墓苑の整備などに追われ、悲嘆に暮れる暇もない事務管理の連続。一人の人間の死というものがこれほど残ったものに大きなものを与えるということに今さらながら驚く毎日です。

そんな折のある日、私が常に兄事している従兄弟から折り入って渡したいものがあるという連絡を貰いました。それは父の手記とこれを公証人が口授筆記した公正証書でした。

林業を営む家の十五代目の父は生前こんなことをよく言っていました。

―「我が家の山林は未来永劫自分のものだなどと所有に拘ってはならない。国家社会からその経営・管理運用の信託をうけたものと解すべきであって、それに応える努力、責任を果たせない者は我が子であっても所有は罷りならぬ。直ちに公の手に返すこと。」

私はその言葉に、内心シテヤッタリと喜んでいたのは事実です。長きに渉った勤め人生活を終え、さあこれから勝手気侭の世界へ浸ろうかというとき、何故重い荷物を?と考えるのは至極当然だったからです。

そしてこの度、確認した遺言の内容は、まさしく生前の父の口癖そのままの内容でした。しかし、日常会話と公正証書では、その訴えの重さは全く異なるものだったのです。父の思想は一時の利害得失に拘る山林経営の責任放棄ではなく、自らの身を削ってでも社会的資源である森林を守り切れというものでした。

さらに、折しも父の没直後、岡崎森林組合長というこれまた重い仕事をお引き受けすることになったのです。組合員の森林経営の健全化に奉仕するとともに森林・林業の再生・活性化によって岡崎の持続的発展に汗を流すという公共の任務です。

遺言に加えてまるで必然のように与えられた命題。

私は林業の世界では、まさに遅れてきた一年生ですが、いま人生の「林住期」を臨終期でなく、「黄金期」とすべく決意も新たにジャンプを切ったところなのです。

（まき　ひろや）

平成23年8月1日
8月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想 …… 1
社会福祉法人「米山寮」理事長
岡崎森林組合長
眞木　宏哉氏
この人に聞く …… 2
タップダンサー姉弟
舞音＆響 氏
羅針盤 …… 2
六ッ美北中 校長 山本　悟
ふれあい …… 3
福岡小　石川　俊之
特　集 …… 4
教師としての力量を伸ばす
～岡崎市教員免許状更新講習～
お知らせ …… 6
フォト・ヒストリー … 8
星を見る会
この本を …… 8

この人に聞く

やりたいことをやってほしい

タップダンサー姉弟
舞音&響　氏

「子供はタップの難しい技でもすぐに覚えてしまいます。『響先生できたよ』と目を輝かせてくる子がいると、教えていて楽しいなあと感じます。」

「ここではタップ、ヒップホップ、ピアノなど、何を習ってもレッスン料は変わりません。やってみなければわからない。私は生徒さんの可能性を見つけたいと思っています。」

早朝五時より大会に向けてのトレーニング、昼は配送の仕事、夜は音楽教室の先生と、多忙な日々を過ごしていることを少しも感じさせない。

姉の舞音さんは二歳でバレエを習い始めてダンスの魅力を知った。それからは、母親の協力もあり、さまざまなダンスレッスンを受け、プロとして活動するようになった。

八歳の姉が、プロの舞台で花束をもらう姿にあこがれ、四歳の響さんも同じ世界に飛び込んだ。その後、天才タップダンサー姉弟としてテレビにも出演する活躍を続けている。

「私は中学・高校と修学旅行に行けませんでした。弟は小六の学芸会に出られなかったかな。」

学校とダンスの両立は難しい。友達との話題も合わず、二人とも寂しい思いをしたこともあったという。

「『一度もやめたい』とは言いませんでしたね。『じゃあ、やめなさい』と母に言われることが分かっていたから。母は『やりたいことをやってほしい』と私たちをいちばん理解してくれています。母は途中であきらめちゃったから。」

母親は音楽教師になりたいという夢を途中で断念した。だが、夢を捨てきれず、現在の音楽教室の基盤であるピアノ教室を開いた。遠回りをした母の思いを舞音さんは感じている。

「公演を地元の多くの人に見てもらいたいです。お客さんがより楽しめるように、年齢層に合った演出・振付を姉と考えています。しかし、大会では観客にうける演技が必ずしも高得点にはつながらないのです。」

「大会用の演技も納得するまで考えます。他の選手はコーチがいますが、コーチの考えた演技で本当に自分が満足できる演技ができるのかと思います。今は自分の好きなことをやれて本当に楽しいです。地元の友達にもうらやましがられます。」

と二人は語る。

舞音さんはタップダンス世界大会で五位、響さんは十一位と日本人としては初の快挙を成し遂げた。次の目標は「世界一」と力強い。

途中、レッスンの仕事を控えた舞音さんは退席した。残った響さんはシューズを履き、タップのリズムを軽やかに響かせながら語った。

「姉はすごい。僕のダンスの目標です。日本のここ、この家に生まれてよかったと思います。地元の人と触れ合いながらダンスを続けることができて。」

（氏　名　まお（昭和六十二年生）
氏　名　ひびき（平成三年生）
住　所　岡崎市渡町）

羅針盤

見る目を養う

六ッ美北中　校長
山本　悟

私事で恐縮だが、幼いころ、母が結核で長く入院していた。そのため、仕事で忙しい父親と中学生の姉を筆頭に幼い四人兄弟が肩を寄せ合って暮らしていた。当時、小学校低学年であった私は、そういう生活のなかで、幼心にも寂しさのためか次第に心が荒（すさ）んでいくのを感じていた。

そんな自分を救ってくれたのは、家族の絆（きずな）はもちろんであるが、担任の先生のさりげない温かい励ましであった。それが、そのころの自分にとってどんなに大きな支えであったか、今振り返っても感謝の気持ちでいっぱいである。

今、社会は物質的には大変豊かになった。しかし、精神的に豊かになったかどうかということに関しては、疑問である。子供一人一人を見てみると、家庭内に問題を抱えている子

内面を見ることの大切さ

福岡小　石川　俊之

二年生四月、始業式から二日目。授業中の教室で、ふと振り返ると、子供が一名いない。よく見ると、机の下にもぐりこんでいる。「どうして机の下に入っているの」と尋ねても、「授業中は椅子に座っているんだよ」と諭しても、まったく動こうとしない。

A男は、物事をよく考えることができる。しかし、学校生活のいろいろな場面で指示を聞こうとしなかったり、意識的に間違った行動をしたりして、わざと目立とうとする。注意しても、同じ行動を繰り返す。

そうしたA男の行動を見ているうちに、彼の内面を見るべきだと考えるようになった。内面を捉えるために、毎日意識してA男と話す時間を設けた。一言のあいさつ、天気の話、好きなものなど、とりとめのない声掛けに対し、A男は返事をしなかったり、単語で答えたりすることが多かった。しかし、数日たつと、ぽつりぽつりと自分の思いを語るようになった。A男の発する小さなサインを見逃がすまいと、声を掛け続けた。

ある日、A男が放課に一人でぼんやりしていた。「友達と遊びに行かないの」と聞くと、「どうせうまく遊べないし」と、A男はつまらなそうにつぶやいた。自分の思いを、うまく言葉や態度に表せないことが原因で、心の許せる友達がいないようであった。それが焦りとなり、行動に表れてしまっていたのである。

A男には、学級での居場所づくりが必要だと感じた。まずは、私自身が、はずかしがるA男の手をひき、一緒に校内を散歩した。その後、学級の他の子供数名にも声を掛けて、鬼ごっこや花いちもんめに誘った。はじめ、「女の子の遊びはやりたくない」と言っていたが、少しずつ友達の輪に入るようになっていった。そして、ひと月経つと、自ら友達と外へ出ていくようになった。遊びから帰ってくるA男は、汗びっしょりのいい笑顔をしていた。

A男は、周りの状況を捉えたり、新しいアイディアを考えたりすることができる。これを生かしてクラスの友達から認められる活躍の場を与えたいと考えた。そこで、二年生が主催する「一年生歓迎会」のグループリーダーにし、出し物を考えさせた。二年生の子供たちにとってアイディアをまとめることは難しく、話し合いは難航した。そこで、A男に、「去年、やってもらったことを思い出してみたら」と声を掛けた。

A男は、昨年の委員会の集会を思い出し、学校クイズを提案した。この提案をきっかけに、話し合いが活発になった。「一年生にわかるように、ゆっくり話そう」「答えはひらがなで大きくね」と、A男を中心に出し物の内容がどんどんまとまっていった。自分の考えを周りの子に伝えながら楽しそうに活動するA男の姿があった。

本番、会の運営を任されたA男の元気な声が、会場に響いた。友達と協力し、懸命にクイズを出題していた。

は、意外と少なくない。両親の仲が悪く、けんかの絶えない家庭、経済的に厳しく、食べ物が十分に与えられていない家庭、子供の養育に両親の関心が乏しく、ほとんど面倒を見てもらっていない家庭等々、様々な実態が浮かび上がってくる。しかし、子供は健気にも、そんな気配を一切感じさせないことが多い。教師が生徒の日常生活から内面の心情を見抜き、時には厳しく、時には優しく、温かく寄り添っていく心遣いが必要である。

表面的に見せる、時には乱暴で横柄な言動の奥に隠されている個々の子供の悩みや寂しさを受け止められる教師でありたい。また、それらを見抜き、温かく対応できる教師でありたい。子供の中には、我々教師が体験していないような厳しい環境のなかで育っている子もいる。そのような子に対して、どのように寄り添い、支え、導いていくかが我々教師の大きな課題の一つである。

見る努力をしなければ、子供の真の実態は見えてこない。我々教師は常に謙虚に子供の抱えている問題を見抜く目を養う努力をする必要がある。「教育は、教師その人にあり」、心に刻みたい至言である。

教師としての力量を伸ばす

～岡崎市教員免許状更新講習～

▲選択講習「日本の伝統音楽を取り入れた授業」

平成二十一年度より実施された教員免許状更新講習。これは、一定期間ごとに知識や技能を獲得する機会を得ることで、教員の質を一定以上に保つとともに、教員としてのレベルアップを図ることを目的としている。岡崎市では平成二十二年度より、全国に先駆けて市独自での更新講習が開設された。

講習の企画・運営は教員免許更新特別委員会が担当し、受講者の実態や意識、ニーズを捉えながら有効な講習となるよう工夫に努めている。例えば、現場で先進的な教育研究を進めてきた授業実践者を講師としたり、市の夏季教員研修とタイアップさせたりしている。これにより、現場で実際に活用できる内容を、夏季休業日中（五日間）に集中的に受講できる。また、市内各所で無料で受講でき、受講者の負担軽減となっている。

講習は、必修講習と選択講習とからなる。必修講習では、課題についての全国の傾向だけでなく、岡崎市の小中学校・幼稚園の実例や統計データ等を用いるなど、実際に学校現場での指導方法を議論できる内容となっている。選択講習では、受講者が興味関心のある分野や自身の免許教科に関わる分野を受講できるように、全二十七講習が設定されている。その内容は、授業実践事例をもとにした新学習指導要領の改訂ポイントの解説、授業案づくり、グループ協議、実技・実演などさまざまである。

岡崎市教員免許状更新講習は、教師にとって教育現場に生きて働く、意義のあるものとなっており、目の前の子供たちのさらなる成長につながっている。そして、そこには単なる免許更新だけでなく、力量を高めようとする岡崎の教師の教育に対するひたむきな姿がある。

岡崎市教員免許状更新講習システム　平成23年度

○免許更新の大まかな流れ

前年度3月	受講予定者への説明会
講習年度4月	受講申込書等の受付
5月	受講票・受講案内等の送付
7月	受講の詳細説明書の送付
8月	5日間の講習の実施（必修2日，選択3日）
9月	修了・履修証明書の送付

○講習日の日程

■ 必修講習

8:30　8:50　9:00　11:30　12:00　13:20　13:30　16:00　16:30

受付	説明	午前の講習	履修認定試験	昼食休憩	説明	午後の講習	履修認定試験

■ 選択講習

8:30　8:50　9:00　12:00　13:20　13:30　15:30　16:30

受付	説明	午前の講習	昼食休憩	説明	午後の講習	履修認定試験

岡崎市教員免許状更新講習の内容

平成23年度

（1）必修講習〈４領域〉

必　　修
A　教職についての省察
B　子どもの変化についての理解
C　教育施策の動向についての理解
D　学校の内外における連携協力についての理解

（2）選択講習〈全27講座〉

選択講習Ⅰ
①　小学校国語科教育
②　社会科教育の現状
③　小学校算数科教育
④　中学校理科教育
⑤　日本の伝統音楽を取り入れた授業
⑥　小学校造形教育
⑦　小学校体育教育
⑧　中学校技術科教育
⑨　中学校英語科の授業づくり
⑩　健康教育　【養護教諭対象】

選択講習Ⅱ
⑪　中学校国語科教育
⑫　社会科の授業づくり
⑬　中学校数学科教育
⑭　小学校理科教育
⑮　これからの音楽教育
⑯　中学校美術教育
⑰　中学校保健体育の授業
⑱　小・中学校家庭科教育の展開
⑲　小学校外国語活動
⑳　保健室と養護教諭　【養護教諭対象】

選択講習Ⅲ
㉑　道　徳
㉒　生活科・総合的な学習
㉓　総合的な学習における職場体験と情報活用
㉔　発達障害児の理解と支援
㉕　特別活動
㉖　生徒指導
㉗　保　健

※　必修講習（各３時間）
※　選択講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの中からそれぞれ１講習（６時間）ずつ選択
※　選択講習では，各教科指導員が協力して運営

選択講習「小学校体育科教育」

○新学習指導要領の要点解説
○映像を使った授業事例の紹介と指導方法の検討
○技能の系統表作成と実技による発表

選択講習「中学校国語科教育」

○新学習指導要領の要点解説
○授業案づくり
○授業における教師の具体的な発問などの工夫についてのグループ討議

選択講習「生徒指導」

○外部講師（県警サイバー犯罪対策室の方）による生徒指導のあり方
○具体的事例をもとにした指導方法のグループ討議
○文科省や警察が提示するデータや資料を使った学校現場での生かし方の確認

▲選択講習「小学校国語科教育」（新学習指導要領の要点解説）

▲選択講習「中学校音楽科教育」（箏の実技講習）

受講者の声

・指導案を作るのは大変だったが、実際の授業を想定した講習であったので、これからの指導に使えそうである。
・講師の先生が綿密な計画をして指導してくれたので、これまで知らなかった実験など新しい知識を学ぶことができた。

▲選択講習「中学校理科教育」（おもしろ実験の紹介）

選択講習「小学校理科教育」

○新学習指導要領の改訂ポイントを授業実践事例をもとに解説
○顕微鏡を使った観察実習（葉の気孔の観察）の新しい方法の紹介
○小学校のウサギや鳥などの飼育活動の意義と留意点
○化学実験や錯視図形など、身近な素材を生かした「おもしろ実験」の紹介と受講者による実演

▲選択講習「小学校国語科教育」（グループ討議）

▲選択講習「小学校算数科教育」（授業実践事例を基にした解説）

▲選択講習「中学校英語科の授業づくり」（実践的な模擬授業）

お知らせ

●授業力・教師力アップセミナー

夏期休業中に、授業力・教師力アップセミナーが開催される。「基礎編」については、左の表のように、十八の研修会が設けられている。各教科領域の基礎的な知識や技能を習得したり、授業を適切に進める力を高められたりすることを期待している。

昨年度より「応用編」は、「岡崎市免許状更新講習」と同じ内容で行っている。八月六日、九日、十日に次頁の表のように行われる。

◆平成23年度授業力・教師力アップセミナー「基礎編」

月 日	教科・領域	会　場	開講式 閉講式
8/4	国語（書写）	岡崎市民会館（集会１号室）	9:00 12:20
8/4	社会	東公園・根石小学校	9:00 16:00
8/4	算数・数学	竜美丘会館501号	9:00 11:45
8/3	理科	三島小学校	9:00 12:00
8/4	生活	総合学習センター（教育研究室１）	9:30 11:50
8/3	総合的な学習	総合学習センター（教育研究室２）	9:15 12:00
8/4	音楽	総合学習センター（小ホール他）	9:00 12:20
8/4	図工・美術	おかざき世界子ども美術博物館（視聴覚室）	9:30 15:00
8/3	保健体育	矢作北小学校　体育館	9:00 12:00
8/4	家庭科（小学校）	福岡中学校	9:00 12:00
8/4	技術・家庭科	城北中学校、八丁味噌の里	9:00 12:30
8/4	英語	六ツ美市民センター	9:25 15:00
8/3	道徳	中央総合公園　野球場 第１会議室	9:25 11:50
8/3	特別支援教育	竜美丘会館501号	9:15 14:45
8/3	学習情報	六名小学校	9:00 16:00
8/4	学校図書館	図書館交流プラザりぶら 会議室103	9:20 11:40
8/3	学校保健	岡崎市勤労文化センター（第１、第２集会室）	9:30 11:50
8/4	生徒指導（不登校対策）	岡崎市教育相談センター	9:15 11:45

●岡崎市総合学習センター

八月二日、開所式が行われ、岡崎市総合学習センターが開設する。次のような施設が使用できるようになる。

○一般利用も行う有料施設
・大ホール　・体育室
・第1会議室　・第2会議室
・和室　・小ホール

◆連絡先…総合学習センター受付（一階）
電話　五四―一一一五

○教育研究専用施設
・教育研究室1～4
・教材開発室1・2
・教育図書室（相談室・視聴覚資料室）

◆連絡先…教育研究所事務室（三階）
電話　八三―七七七〇
ＦＡＸ　八三―七七七一

●ハートピアだより

命の輝きを学ぶ

四月の小学校始業式当日に登校した前年度通所生は、嬉しいことに八名全員だった。そのうち、二名は式にも参加できた。中学校入学式・始業式当日の登校者は十六名。式参加者は七名だった。残念ながら四名が当日欠席した。また、進学した卒業生十三名は全員入学式に参加できた。

四月当初は、新規相談員二名とともに、七名の相談員で登校支援や本年度の新規通所生の受け入れ準備を進めた。新しい出会いがある四月当初の好機を考慮し、十八日から本年度の通所生を受け入れた。

七月現在、二十五名が通所し、昨年とほぼ同じようなペースとなっている。通所生の該当する小学校は三校、中学校は十二校であり、男女比は、女子が男子の約二倍となっている。

本年度効果が期待されているのが、早期の担任との打ち合わせ会である。来所いただき、復帰のためのきめ細やかな連携を図っている。

今学期中、子供たちは、おかざき世界こども美術博物館の造形教室と岡崎市自然体験の森に出かけた。こども美博では、かばん飾り、コースター、風鈴、文鎮などを作った。自然体験の森では担当の三浦先生から自然界の生き物の命に関するお話を聞いた。長時間じっとしていることが苦手な子もいるため、最後まで聞いていられるか心配したが、素晴らしい映像と話術のおかげで、最後まで聞くことができた。自然界の厳しさと生きる必死さを学んだ。

▲ 命の輝きの視聴

◆平成23年度授業力・教師力アップセミナー「応用編」

【8月5日（金）】		
講　習　名	会　　場	講　師
小学校国語科教育	総合学習センター教育研究室2	山田　禮子
中学校社会科教育	総合学習センター教育研究室1	加藤　有悟
小学校算数科教育	総合学習センター小ホール	高鍬　利行
中学校理科教育	総合学習センター教材開発室2	安藤　直哉
小学校音楽科教育	総合学習センター教材開発室1	山本　知子
小学校図工科教育	子ども美術博物館視聴覚室	杉原恵美子
小学校体育教育	総合学習センター第1会議室・体育室	中野渡善樹
中学校技術科教育	新香山中学校パソコン室・木工室	山本　満夫
中学校英語科教育	総合学習センター第2会議室	岩城　冬子
健康教育	総合学習センター教育研究室3	内山彩由実
【8月9日（火）】		
講　習　名	会　　場	講　師
中学校国語科教育	総合学習センター教育研究室1	牧野　守
小学校社会科教育	総合学習センター小ホール	田中　俊二
中学校数学科教育	総合学習センター第1会議室	荻野　款司
小学校理科教育	総合学習センター教材開発室2	杉田ひろ子
中学校音楽科教育	総合学習センター教材開発室1	和田　実
中学校美術科教育	総合学習センター教育研究室3	澤田　祥明
中学校保健体育科教育	竜海中学校図書室・体育館	荻野　卓寛
小・中学校家庭科教育	総合学習センター第2会議室	三浦みどり
小学校外国語活動	総合学習センター教育研究室2	白井　直美
保健室と養護教諭	総合学習センター教育研究室4	小林　友美 内山彩由実
【8月10日（水）】		
講　習　名	会　　場	講　師
道徳	総合学習センター教材開発室2	鈴木　実俊
特別活動・学級経営	総合学習センター教育研究室1	松浦　良昭
生活科・総合的な学習	総合学習センター教育研究室2	金指由香里
情報教育	六名小学校パソコン室	小田　哲也
発達障害児の理解と支援	総合学習センター第1会議室	柴田　昌一
生徒指導	総合学習センター小ホール	都筑　祐一
保健	総合学習センター教材開発室1	稲垣　幸一

●おかざきの心の歌 ～夢ふくらませ～

現職研修音楽部を中心に、「おかざきの心の歌」三部作の制作に取り組んでいる。

昨年度完成した『夢　受け継いで』に引き続き、『夢ふくらませ』が完成した。

七月一日、市制記念日に南中学校、六ツ美北中学校合唱部により披露された。

左は『夢　ふくらませ』の歌詞。

『夢　ふくらませ』

1　春風そよぐ　菜の花に
若鮎踊る　青き川
平和を願う　家康の
高き天守の　わが町よ

2　大花火咲き　ホタル舞い
御田植歌の　響く空
努めてやまぬ　光太郎
科学の息吹く　わが町よ

※父よ　母よ　ふるさとよ
おかざきの心　忘れまい
父よ　母よ　ふるさとよ
おかざきの心　夢ふくらませ

3　実りの大地　風立ちて
自然の恵み　人の知恵
玉石を積む　大樽の
技を受け継ぐ　わが町よ

4　冬晴れの里　たおやかな
浄瑠璃姫の　物語る
春告ぐ祭り　滝山寺
古遠き　わが町よ

※繰り返し

●海外都市交流事業

岡崎市中学生姉妹都市・友好都市交流事業として、ニューポートビーチ市（アメリカ）・ウッデバラ市（スウェーデン）と交流活動を行う。

呼和浩特（フフホト）市との交流は、震災の影響で本年度は行わない。

今年度の岡崎市派遣団員は、左表のとおりである。

・受け入れ・訪問日予定

ニューポートビーチ
受入　7／6～7／13
訪問　10／4～10／13

ウッデバラ
受入　10／22～10／28
訪問　9／27～10／6

◆岡崎市派遣団員一覧

姉妹都市　ニューポートビーチ市					
団　長	甲山中学校校長	高橋　淳	副団長	教育委員会主事	内山彩由実
団　員	南中学校3年	天野　花梨	団　員	竜海中学校3年	長嶋　遥奈
団　員	葵中学校3年	繁原　健太	団　員	岩津中学校3年	小山　結衣
団　員	矢作北中学校3年	大久保采華	団　員	新香山中学校3年	柴田　雛子
姉妹都市　ウッデバラ市					
団　長	城北中学校校長	酒井　久男	副団長	六ツ美西部小学校教諭	山本　佳美
団　員	甲山中学校3年	伊奈由紀乃	団　員	福岡中学校3年	森永　拓磨
団　員	常磐中学校3年	大久保郁哉	団　員	六ツ美中学校3年	松井　里紗
団　員	北中学校3年	石橋　幸大	団　員	六ツ美北中学校3年	近藤　泉
※呼和浩特市との交流は本年度実施せず					

▲ 平成23年度　岡崎市派遣団員

●表　彰

◆フラワー・ブラボー・コンクール春花壇

東海テレビ賞　六ツ美中部小

中部慈善銀行賞　上地小

◆全日本小学生中学生アーチェリー大会

リカーブ部門男子
優勝　東海中三年　野村　翼
二位　東海中三年　加藤優一

リカーブ部門女子
二位　東海中三年　堀口理沙

※総合得点が基準を上回り、世界ユース選手権大会の日本代表に選出

フォトヒストリー 岡崎の教育

「星を見る会」
（昭和50年）

写真提供：常磐南小学校

大井野町の空き地に子供たちが集まり、星座早見盤を手に星の観察をした。当時の新聞に掲載された写真である。この天体観測は、夏期休業中に常磐南小学校区の四町各町で行われた。

昼間、教室で天体の学習をし、薄暗くなったころ空き地に集まる。日が暮れ、星が輝きを増し、観察が始まる。先生の説明を聞きながら星座早見盤を片手にいろいろな星座を見つける。天体望遠鏡も用意され、金星の観測も行った。

参加者は当時を振り返り、「高学年が低学年に教えながら見たことを覚えている。天体観測だけでなく、よく校外に出かけ、自然観察をした。夏休み中でも、何かしら学校に行き、勉強したり遊んだりしていた。楽しかった。」と語る。

今では、メディアの発達により、バーチャルで学習できるようになった。しかし、自分で足を運び、体験を通して学ぶことの楽しさには及ばない。今も天体観測を実施している学校があると聞く。暗い中、みんなで見上げる星空には、いつもと違う魅力がある。

・カット　竜海中　小川恵子

オアシス

岡崎市の学校教育における貴重な財産が、受講者に受け継がれる。先進的な教育研究を進めてきた授業実践者が講師となり、岡崎市の教師を指導する教員免許状更新講習。経験に裏づけされた講習内容が、私たちの力量を高める。そしてそれが岡崎の子供のさらなる成長につながる。なんと心強いことだろう。

シュルルルルードーン。胸に響く音とともに夜空に咲く色とりどりの大輪の花。

毎年多くの観客を楽しませてくれる。大切に作られた花火と同じく、子供たちには一人一人さまざまな個性があり、その輝き方は違っている。それぞれの可能性が十分に発揮され、空に向けて輝けるように、子供たちに寄り添い、支えていきたいと思う。

網を片手に野山を駆けめぐり、昆虫を追いかける子供たちの姿をほとんど見かけなくなった。持ち換えたのは携帯型ゲーム機。公園などで友達と「ゲームをして遊ぶ」姿も見る。季節を感じるのは、周りの景色と服装だけになってしまうのか。

八月、夏真っ盛り。多くの自然に触れ、暑い季節を満喫してほしい。

「好きなことをやり続けることができる」なんと幸せなことだろう。それを続けられることは周囲の支えがあるからこそである。タップダンサー姉弟はこの感謝の気持を少しでも社会に還元したいと考えている。八月十三日、「りぶら」でのタップダンスショーの収益は一部が寄付に回るという。幸せのパワーを分けてもらいに行こう。

この本を

＊怒らない技術　嶋津　良智
　フォレスト出版　￥945

＊教師のためのパフォーマンス術　上條　春夫
　金子書房　￥2,415

＊答は現場にあり　大畑　誠也
　ぱるす出版　￥1,200

＊すきやばし次郎　鮨を語る　宇佐美　伸
　文藝春秋　￥735

＊ドラッカーと松下幸之助　渡邊　祐介
　ＰＨＰ研究所　￥800

パナソニックを一代で築きあげた経営の神様・松下幸之助は，「事業は人なり」と言い，世界最高の経営学者・ドラッカーは，「経済的発展において最大の資源になるのは人間である」と言った。この二人は，世代や立場が全く違っていても，経営において，人間や社会に対するものの見方や考え方に共通する点が多い。経営において，最終的に行き着く重要なところは「人間としての『真摯さ』である」とする考えもまた共通している。この二人のものの考え方の比較は，教育にとっても，興味深いものである。

甲山中　高橋　淳